

東日本大震災被災者支援事業



きずな&おもいを 紡ぐ旅・よこはま 事業報告書



社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会・中区ボランティア連絡会



「東日本大震災被災者支援事業 おおふなと『がんばっぺし』心プロジェクト」として「きずな&おもいを紡ぐ旅・よこはま」を、3月末に実施しました。80名の大船渡の皆様が参加され、2泊3日の日程を楽しまれて無事にお帰りになったことを誠に嬉しく思います。ご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

この事業は、268団体・のべ900名を超える皆様に、自分で無理なくできることを少しずつ持ち寄っていただき、成り立ちました。本冊子では、それらの準備や当日の様子、そして皆様から寄せられたメッセージをご紹介します。

被災地の復興は先が長いものであり、私どもといたしましては、長期的な支援を続けていきたいと考えております。大震災により被害を受けられました地域と皆様方の、一日も早い復興をお祈り申し上げ、ごあいさついたします。

発起人

社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会
中区ボランティア連絡会
東日本大震災被災地復興支援
がんばっぺしプロジェクト

CONTENTS

■はじめに	
■歓迎メッセージ	1
■感謝メッセージ	3
■写真でつづる3日間	4
■実施までの道のり	10
■大船渡からのメッセージ	12
■プロジェクトにかかわった方々からのメッセージ	20
■資料集	30
趣意書	
協賛名簿	
3.11 街頭募金協力団体名簿	
報道記事	



金子 豊

社会福祉法人
横浜市中区社会福祉協議会 会長

ようこそ横浜へ！

横浜市中区社会福祉協議会 会長の金子です。

このたびは、横浜市中区にご来訪いただけること、私たちが皆様をお迎えできることを、主催者としてとても嬉しく光栄に思っています。

ただいま本会では中区とともに、区地域福祉保健計画の中で「中区みんなでおせっかい運動」を展開しています。

私の思うおせっかいとは、「出来る人が出来る時に出来ることをやろう」ということだと受け止めています。今回、私たちが出来ることを少しずつ持ち寄って、この事業が出来ました。

横浜で過ごす時間は短いものですが、ゆったりとお寛ぎいただき、皆様の思い出となり心の癒しのお手伝いとなることを願っています。

最後になりますが、被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。



佐々木 茂雄

中区ボランティア連絡会 会長

お待ちしていました。横浜中区へようこそ！

先日表敬訪問で大船渡市に行った時、短時間でしたが被災地の現場を拝見しました。

最初は奇跡の一本松の写真をとりましたが、鉄骨だけが残された建物や空き地にうずたかく積まれた瓦礫の山を目の当たりにし、津波の凄さをまざまざと実感しました。そして、皆さんが階段を駆け上がって助かったという加茂神社の「命の階段」の話を神社を通りつつ聞き、シャッターを押す事が出来なくなりました。

ただ、復興屋台村や漁協で聞いたお話や、帰り道の車窓から種牡蠣の棚を見て、復興の兆し、すなわち皆さの「がんばっぺし」の一部を知り、これからも長い支援が必要だと痛感しつつほんの少しですが安心して帰途につきました。

震災前と激変した風景と共に生活をしていく皆さんにとっては、気の休まる事がないのではと思います。

わずか3日間の横浜滞在ですが、のんびりと過ごされ、旧町内会の方たちと語りあって、心の絆をつくらって復興への糧にして頂ければ幸いです。私達ボランティア連絡会でも、仲間が皆さんのお役に少しでもたてればとお待ちしております。





平山 正晴

横浜市中区
連合町内会長連絡協議会 会長

皆様、ようこそいらっしゃいました。

中区連合町内会長連絡協議会 会長の平山です。

まず初めに、大震災に際し、被害に遭われた皆様に心よりのお見舞いを申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

私ども中区連合町内会長連絡協議会では、住民同士、自治会町内会同士の絆を大切にしながら、住みやすく、居心地の良いまちづくりを目指して、各会長が日々地域活動に取り組んでおります。

皆様をお迎えする取り組みが、中区を「よりよい街にし、地域を元気にする」活動と考え、準備を進めてまいりました。

この取り組みは、小さな一歩かもしれませんが、やがて皆様の復興を支援するより大きな力となっていくことを願っています。

そして、この旅が、皆様の旧交を温め絆を深める機会となれば嬉しく思います。どうぞ、体調に気を付けてお過ごしください。



有波 良枝

中区女性団体連絡協議会 会長

昨年3月11日、東日本大震災から早や1年、復興にむけて、同じ港町どうし少しでも手助けが出来ればと、中区社会福祉協議会で『おおふなと「がんばっぺし」こころプロジェクト』の話を聞き参加させて頂きました。

大船渡港が岩手唯一の国際港で、岩手の海産物が、関東や又海外に輸出されていたのに大打撃を受け、ご苦労されている方々に少しでも心の温まる、おもてなしが出来ればと思います。

私事ですが、15、6年前、岩手県が甘茶の産地だと知りました。江戸時代、「かっぱれかっぱれ甘茶でかっぱれ、塩茶でかっぱれ」と歌が流行っていたので、甘茶を入れた、かっぱれ万頭を売り出し、繁盛して現在も製造が続いていますので私も取り寄せています。災害後、製造元に電話で安否を確かめましたら、「ご安心下さい元気です」と返事があり早速注文しました。

このようなお付き合いが、今回のプロジェクトを機会に、港町どうし、交流が深まれば幸いに感じています。一時も早い地域の復興と生活の安定が出来ます事、心よりお祈り申し上げます。



牧野 孝一

横浜市中区長

平成23年3月11日から1年が過ぎました。未だ3,155名の方が行方不明の中、お亡くなりになった方々に、謹んで哀悼の意を表すとともに、被災した皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

中区民の皆様の多くのお力添えをいただき、大船渡市で被災された方々を横浜にお招きすることができました。関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

中区では、地域福祉保健計画の中で「中区みんなで小さなおせっかい宣言」として、「大きなお世話といわないで 世話を焼いたりやかれたり 次はあなたが誰かのために 交わす笑顔がふえていく いつもいつでもできること いいね!このまち!!中区の絆」を合言葉に、「住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくり」に取り組んでいます。

おおふなと「がんばっぺし」心プロジェクトは、中区地域福祉保健計画の1事業として行っております。2泊3日という短い期間ではありますが、心を休めていただくとともに、同じ港町という共通点を持つ横浜市中区を、第二の心のよりどころとしていただけると、幸いに存じます。

私ども中区民及び事業者のできることを、長期的な視点で大船渡の皆さまとともに、復興に至るまで行っていきたいと考えております。大船渡市の復興を祈念して、私の御挨拶とさせていただきます。



戸田 公明

大船渡市長

『東日本大震災被災者支援～きずな&おもいを紡ぐ旅・よこはま～』の実施にあたりましては、社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会様をはじめ、中区ボランティア連絡会様、東日本大震災被災地復興支援がんばっぺしプロジェクト様など多くの皆様が、「被災地の方々の思いを分ち合い、共に明日への希望を紡ぎたい」との思いを共有して実現したものであります。

横浜市中区には、毎年、私たちの目前に優美な姿で現れる大型客船「飛鳥Ⅱ」が停泊する横浜大さん橋をはじめ、横浜ベイブリッジ、山下公園、横浜赤レンガ倉庫などがあり、一年を通じて多くの観光客で賑っています。

ご参加の大船渡町浜町及び須崎地区の皆様におかれましては、応急仮設住宅など新たな環境での生活により、少なからずお疲れも溜まっているものとお察しいたします。

今回の旅が、皆様にとって、心身の疲れを癒し、明日への鋭気を養う機会となりますよう、また、横浜市中区の皆様との新たな絆を結ぶ出会いとなりますよう心からご祈念いたします。



佐野 秀一

社会福祉法人
大船渡市社会福祉協議会 会長

あの忌まわしい東日本大震災から早くも1年が経過し、時の流れの速さを感じています。本市においても震災により甚大な被害を受けましたが、現在、復興に向けた新たなまちづくりに取り組んでいるところであります。

このたび横浜中区の「おおふなと『がんばっぺし』心プロジェクト」様のご厚意により、浜町、須崎両地域の80余名の方々をご招待いただき、絆を強めていただくことになったことに深く感謝申し上げます。参加された浜町、須崎両地域の皆様には、今回の歓迎ツアーを心置きなく満喫され、活力を蓄えて帰られますようお待ちしております。

本会でも、これまで震災の対応に県内外の多くの皆様から様々な形でご支援・ご協力いただけてきました。本会としては、今後とも「住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会」の構築にアプローチしながら、「お互いが支え合い、人と人とのつながり」を一層強めた生き方を求めてまいりたいと考えておりますので、皆様方のお力添えをお願いいたします。





写真でつづる3日間

3/29

1日目

6:00



15:30



18:00

大船渡
出 発



横浜到着
歓迎セレモニー
(関東学院大学 KGU
関内メディアセンター)

歓迎レセプション
(ホテルニューグランド
レインボーボールルーム)



朝早くに大船渡を出発し、バスに揺られ9時間以上…



横浜に到着！
たくさんの方がお出迎え



歓迎セレモニー
吉田中ブラスバンドクラブのパワフルな演奏



Welcome to Yokohama

ブッフエスタイルの
おいしい料理に舌鼓

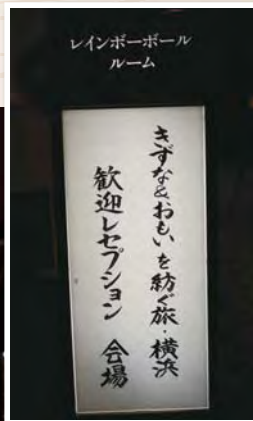


レインボーボールルームにて…



中区から大船渡へ目録の贈呈

濱守栄子さんの弾き語り



大船渡でお祝いのときに歌う
「ごいわい」を披露



大船渡音頭、さくら音頭を会場のみなさんで



3/30

終日自由行動

オプションツアー

2日目

ファミリーコース

開港広場 ~ 山下公園 ~ 横浜人形の家・横浜マリンタワー ~ 横浜中華街・よしもとおもしろ水族館 ~ 日本大通 ~ 象の鼻パーク ~ 横浜赤レンガ倉庫 ~ カップヌードルミュージアム ~ 大さん橋・飛鳥II



シルバーコース

各ホテル ~ 山下公園・横浜三塔・横浜赤レンガ倉庫・みなとみらい地区・横浜スタジアム (バス車窓より) ~ 横浜人形の家・横浜マリンタワー ~ 横浜中華街 ~ 万葉倶楽部・横浜みなとみらい ~ 大さん橋・飛鳥II



飛鳥IIティーパーティーコース

飛鳥II乗組員とのティーパーティー



中区内
宿泊



マリンタワーから横浜を一望



人形の家にて、世界の人形を見学



区内各所をボランティアさんと観光



中華街にておいしい昼食



よしもとおもしろ水族館にてカメをパチリ!





世界にひとつのカップヌードルを真剣に



万葉倶楽部にて足湯も堪能



まもなく飛鳥IIに乗船！



クルーと楽しく談笑



3/31

3日目

10:00

中華獅子舞見学
(横浜山手中華学校)



11:30

横浜
出発



21:30

大船渡
到着

貸切バス
で移動



素敵な舞踊



中華獅子舞が！



中国の文化にも
ふれました



See You
Again!



たくさんの思い出とおみやげを手に大船渡へ



実施までの道のり

大船渡市表敬訪問 平成24年1月25日(水)

金子 中区社会福祉協議会会長(写真右)、佐々木 中区ボランティア連絡会会長(写真左)が、大船渡市役所に表敬訪問。戸田 大船渡市長(写真中央)へ目録の贈呈を行いました。



中なかいいネ！発表会＆中区社会福祉大会 平成24年2月20日(月)

中区内の被災地支援の取り組みとして、リレーメッセージで「がんばっぺしプロジェクト」を紹介。また、同時開催のJACKふくしバザールでは区民からのたくさんの寄せ書きが集まりました。

リレートーク発言者

中区ボランティア連絡会会長 佐々木 茂雄さん

中区ボランティア連絡会では、「私たちに今できること」を合い言葉に活動。中区社会福祉協議会と共に本プロジェクトを主催しました。

横浜5日会幹事 横浜ロイヤルパークホテル レセプションマネージャー 田辺 章一郎さん

宿泊フロント業務連絡会である横浜5日会(横浜市内のホテル42社が加盟)は本プロジェクトへ協力いただきました。

さんりく大船渡ふるさと大使 永澤 信見さん

大船渡市から委嘱を受け、市のPR、まちづくり、震災復興の活動をし、現在、全国各地に54名のふるさと大使が活躍されています。



・プロジェクトの紹介



・区民からの寄せ書き

集え、311人！～私たちは3.11を忘れない～

おおふなと「がんばっぺし」心プロジェクト 街頭募金 平成24年3月11日(日)



「中なかいいネ！」の一環として、「集え、311人!～私たちは3.11を忘れない～」を合言葉に関内・桜木町の各駅で街頭募金を実施しました。当日は73団体、約700人ものボランティアが集い、通行人に募金を呼びかけ、763,964円が集まりました。

関内会場



桜木町会場





大船渡からの メッセージ

みなさんからたくさんのメッセージが届きました



■佐藤 美加子／先日は、横浜へのご招待を頂き、ありがとうございました。皆様のあたたかい真心にふれ、とても素晴らしい3日間を過ごす事が出来ました。また、横浜の町を散歩していた時も、夢のような時間を過ごす事が出来ました。宿泊先のナビオス横浜も建物も、そして夜景も素敵でとても感動いたしました。スタッフの方々の笑顔も、私達家族にとって、何よりも癒しとなりました。本当に、ありがとうございました。必ずまた皆様に再会したいです。その日まで復興に向けて、一歩、一歩、頑張ってます。

■橋本 タイ／先日は横浜の支援者の関係各位の御支援により震災の旅に招待いただき何もかも失った私達に至れり尽くせり もてないただき深く感謝申し上げます。又吉田中学校プラスバンドが故郷の歌 中華学校の伝統文化獅子舞 舞歌感動致しました。おかげ様で何もかも忘れて楽しい二泊三日の旅でした。東北大船渡もやっと桜の花が咲き出しました。一日一日前向きで歩いています。又おいしい御当地のおみやげまでいただき、本当本当にありがとうございます。大船渡の横浜に在住の皆様、ありがとう又横浜に行きたいと思っております。

■鈴木 海斗／バスりょうこうありがとうございました。野球ががんばってます。また、いきたいです。

■及川 莉音



■佐藤 和紀／横はまにごしょうたいしてくれてありがとうございます。しかも、りょうりがとてもおいしくておいしかったです。でも、とても、きれいな町ですね。また、来年もいきたいのでみなさんにもあいたいのぜひまたごしょうたいしてください

■夢ママ／この度は“おおふなとがんばっべし心プロジェクト”に誘っていただき、ありがとうございました。地区外から参加させていただきましたが、“感動”しっぱなしの3日間でした。バスの長旅はどうか…?と息子の心配をしていましたが、グチのひとつもありません。それだけ楽しかったんだと思います。主催された皆様には、たいへんお心使いやご苦勞をおかけしたことと思います。なのに最後の最後まで、笑顔で受け入れて下さり、感謝でいっぱいです。大船渡にも、遊びに来て下さい。今度は私達が笑顔でおむかえします。

■佐藤 浩希／横浜にご招待していただきありがとうございました。みなさんのあたたかいお言葉にとっても感動し、勇気をいただきました。横浜という町は、素晴らしい町で、ぜひ住んでみたいと思いました。そんな素敵な横浜にぜひまた行きたいです。また、ナビオス横浜のスタッフのみなさんがあたたかくてむかえていただき素敵な3日間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。また、再会できることを楽しみにしています。

■新沼 (山崎) 美知恵／4月も後半となり、大船渡でもようやく桜がさきはじめました。過日の横浜旅行に際しましては、多くの方々の心温まる歓迎とおもてなしに心より感謝申し上げます。震災より一年。仮設住宅での生活にも何とか慣れてきたものの、旅行するなど思ってもいみませんでした。思い切って参加して本当に良かったと思っています。一年ぶりに再会した町内会の皆さんの顔を見て安心するとともに、笑顔に元気をもらいました。津波で全てを失い思い出までも流されてしまったような淋しさがありましたが、思いがけず飛鳥に乗船できるなど、この旅行で楽しい思い出がたくさん出来ました。この旅行の実現にあたり、たくさんの応援してくださる皆様のご苦勞があったと伺いました。本当にありがとうございました。何年先になるかわかりませんが、いつか復興した大船渡の町をぜひ見に来てください。

■及川 咲和



■三宅 ヒロ子／今回のがんばっぺし心のプロジェクト横浜に招待いただきありがとうございます御座居ました。初日歓迎セレモニー ブラバンクラブの中学生の皆さんご苦労様でした。涙の出る思いでした。横浜山手中華学校では中国の獅子舞と踊り、初めて見ました。ほんとうに感動しました。ホテルにも私達は横浜の港と山下公園が目の前にほんとうに楽しい旅でした。ありがとうございます御座居ました。

■及川 由里子／3日間の横浜楽しく過ごさせて頂きました。町田で短大・OL生活をしていて、関内の支店にも1ヶ月位ですが通勤していたので、本当に久しぶりに横浜に行く事が出来て、なつかしく思いました。(^^)

【津波】という大きな災害にあい、明日どうする？という1年前からは、想像も出来なかった事です。ずっとがんばってきた子供達にも楽しい思い出を作ってあげる事が出来ました(>0<) プロジェクトスタッフ同様、中区民の皆様、ご支援頂きありがとうございます！！また、遊びに行きたいと思えます。

■小山 芳江／大船渡がんばっぺツアー……。前日ぬむれなかった。……当日迎えのバスがきてた。むねをはづませて出発……。初日歓迎セレブション関東学院大学(1時間おくれ)セレモニーは夕食にあわせてホテルニューグランドで行われた。……2日目は終日自由行動でボランティアの皆様と一緒に(つかれたと思います)山下公園、中華街での散策(たのしかった)3日目山手中華学校でのお別れ会、ありがとう涙がでて、とまらなかった。(ありがとう)中区のみなさん、ボランティアのみなさん本当にありがとうございます。一生忘れません思い出をありがとう。



■あゆ



■新沼 ちる子／四月も中旬になり北の岩手にもやっと陽気な日が続く様になり桜のつぼみも色ついて来た様に見られます。ところで過日は横浜中区の皆様には盛大に心あたたく迎えて頂き、又、色々なおもてなし等々頂き心より感謝申し上げます。飛鳥船上での御配慮、そして中国民族舞踊、ホテルでのお心使い等・中区の一人一人にありがとうございますの一言につきますばかりです。大船渡町も現在は見渡す限り大荒野ですが何年後(いや何十年)か、いずれ復興した際には横浜中区の皆様にも是非お出で下さいます様お待ちしております。中区の皆様お元気で！！

■T.S／この度は2泊3日横浜の旅にご招待…参加させて頂き本当に有難うございました。はじめての横浜、さすが港町でした。中華街散策でしたが、強風の為ちょっと残念でした。これから先、幾年を重ねる事が出来るのかわかりませんが、一生の思い出となりました。見せていただくものすべてが素晴らしいものでした。お世話下さいました方々には本当に御苦労様でした。心より御礼申し上げます。

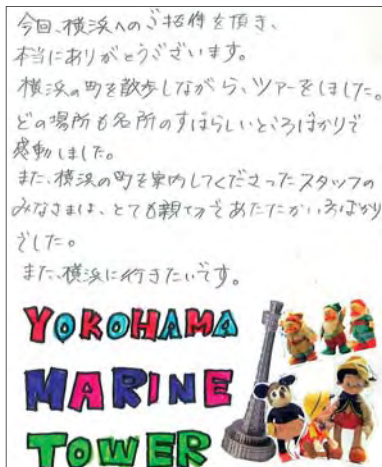
■鈴木 りか／返事が大変遅くなりすみません。楽しいすてきな“出逢い”“時間”をありがとうございました。夏には店を再開しますのでこちらに来た時は寄って下さい。本当にありがとうございました。同級生のみんな(ゆうこちゃん、チャコちゃん、マリちゃん、前田くん)元気パワーありがとうね！

■佐藤 柚季



■浅沼 久美子／浜町・須崎町内会の方々と思い出残る旅行になりました。いろいろなつらさや苦しみを話せたりみなさんの笑顔を見て、自分も負けてはいられないと思いました。横浜の皆さんの色々な言葉に力をもらいました。ありがとうございました。いつか、自分たちも恩返しができるようにこれから過ごしていきます。本当にありがとうございました。

■佐藤 実咲



■こよなく浜町を愛してやまないおばさん／この度の横浜のツアーに、元気で参加させて頂き、ありがとうございました。旅行中、さまざまな折に、プロジェクトのスタッフの皆様の気づかいが感じられて、心が暖かくなったのを思い出しています。私は親子二名での参加でしたが、若いファミリーの方達の同行も有って、老若男女、本当に楽しく、大過も無く、無事に行ってこれた事、何よりも飛鳥から見た夕景のすばらしさは目に焼きついています。有難うございました。

■なおこ／何と言ってお礼をしているのか言葉が見つかりません。「ありがとう」だけでは足りなくて、、、。横浜の人も優しくとてもうれしかったです。ここまでの旅行を計画し、実現して下さった方々、ボランティアの皆さん、オプションツアー、歓送迎セッション、セレモニーなど大勢の皆様感謝しております。ありがとうございました。

■新沼 杏奈／わざわざよこはまからしょうたいしてくれてありがとうございます。ごうかな料理をみているだけでも楽しかったです。バスにのっている時は、たいくつだったけど、よこはまに近づくにつれてワクワクしてきました。ホテルはものすごくキレイでした。またよこはまに行ってみみたいです。

■新沼 和佳／過日は大変お世話になり、誠にありがとうございます。私は浜町にきて9年でしたが、みんないい人達ばかりで、この震災にあいバラになってしまい、とても残念に思っていました。思いがけない横浜へのご招待を受けて、また1つ思い出ができました。このプロジェクトでお世話してくださった方々や、私達を温かく迎えてくれた中区のみなさんには、とても感謝しています。ゼロからのスタートと思い、前に進んで行きたいと思えます。機会があれば、また遊びに行きたいです。

■岩淵 綾子／おおふなと「がんばっぺし」にお招き下さいまして誠に有難うございました。心から感謝申し上げます。私は大震災以来ドラマの様な一年を過ごしました。横浜中区の皆さまを始め社会福祉協議会の皆様の並々ならぬご厚意に対し感謝と共にそのご厚意に報いるためにもこれからも頑張っぺして老いの身ながら生きて行きたいと思っております。本当にありがとうございました。

東日本震災前に白内障の手術して
 捨てがたき母の着物を夜着に替え
 身にまとひつつ命救はる
 奇しくも命とどまりたり
 ふりたれど終の住処と決めし家無惨に壊し跡形もなし
 故郷に願ひかなひて帰り来ぬ心穏しく深く眠りぬ
 港湾と飛鳥の結ぶ絆にて一年ぶりの再会はたす

■斎藤 道子



■ジャーちゃん／夢の様な2泊3日でもございました。私の人生後半の後半にこの様に楽しい旅行がプレゼントされるなんて……嬉しかったです。Aコース・ガイドされたイケ面さん、大変でしたネ。イケ面さんにオイテケボリくわない様ピッタリくっついて歩くババちゃんの姿、自分で自分がおかしくなります。足には自信が持てましたので今度は、娘と二人横浜の街並、歩きたいと思っております。スタッフ様達の中に、思いがけず、S30年代隣組だった佐藤様の、祐子ちゃんが居られ、立派に成長なさり、キビキビと大勢のお世話をなさる姿を拝見し、胸が熱くなりました。帰宅下車の際には1人々におみやげを渡し乍やさしい思いやりある言葉も頂きました。普段、暗くもの淋しい仮設住宅街も明るく楽しい気分です。帰宅する事が出来ました。スタッフの皆様心から御礼申し上げます。






■及川 正己／前略 先日は横浜市中区社会福祉協議会の金子会長様はじめ、佐々木会長様・平山会長様・有波会長様・牧野区長様・おおふなと「がんばっぺし」心プロジェクトのメンバーの皆様、今回のご招待の旅、お忙しい中、朝から晩まで口舌に表せぬお世話いただき、心から心から心から感謝いたして居ります。初日の横浜市立吉田中学校のブラスバンドを含む皆様の歓迎セレモニーから始まり、3日目の横浜山手中華学校のお別れの会まで、細やかなるご歓待、私たち82名心から感謝申し上げ、感激の心一杯で帰ってまいりました。他人の世話をするとする事は、やってみた人でなければその苦勞は分かりません、本当にご苦勞をお掛けしました、今後とも宜しくお願い致します。末筆ですが皆様のご健勝を心からお祈りいたします。草々

■菅原 礼子／感謝 たくさんの方々のあたたかいご支援で横浜の旅を満喫させていただきました。エスカル横浜同行して頂いたスタッフの皆さんの優しさで大船渡の生活を忘れて心とむ3日間でした。ありがとう横浜のみなさん!! ありがとう同郷のみなさん!!

■チボ&チャリ

3日間お世話になりました、横浜で楽しめたことは...水産館や中華街ですね。バスでのツアー-コンダクター-の話も面白かったです。でも特に印象に残っているのは...
甘栗 がオスメされたコトや
パンダのお土産がみんなことですかね(笑)
本当にありがとう
ございました。



■おおふなと夢商店街バーバーミノル／横浜市中区社会福祉協議会、中区ボランティア連絡会、さんりく大船渡人会その他の皆様、此の度は多くの皆様のご支援と熱烈な歓迎を頂きありがとうございました。吉田中学校吹奏楽部の演奏(嬉しかった。)です。横浜山手中華学校の舞踊(笑顔がすばらしい)そして獅子舞(力強く活気にあふれ)勇気をもらいました。飛鳥に乗船できた事は、旅先で偶然にも親戚に会った様な気がして嬉しかったです。復旧復興ははじまったばかりですが、一歩前進です。ありがとうございました。

■浅沼 慶太／あの時はいろいろなご案内やホテルなどの事などをしていただきありがとうございました。とても楽しかったです。その他にいちばん最初のホテルでのバイクングでは、たくさん用いをしていただきありがとうございました。そして中華学校ではいろいろな事をしていただきありがとうございました。かなり出すのがおくれました。

■千田 美鶴／このたびは横浜への御招待有り難うございました。大変楽しく過ごさせていただきました。横浜中区の皆様それから大船渡「がんばっぺし」心プロジェクトボランティアの皆様大変お世話になり心から感謝申し上げます。これからも健康に気をつけて頑張ってください。

■斎藤 真言子／初めて横浜に行きましたー!しかもあんな大勢の方々の協力があって、ということで、色々かみしめながら2泊3日過ごさせていただきました!ありがとうございました!2日目は自由行動を選択し、ドンキとマルイとそごう、山下公園、赤レンガ倉庫に行きました。ドンキでは大好きなグルーミーの着ぐるみを買って嬉しかったです♥!赤レンガ倉庫はお洒落すぎて、田舎根性折れるかと思いましたがもうサギの可愛いペンポーチを買ったり、おいしいごはんを食べたりし、すごく楽しかったです!中華学校での獅子舞も可愛かったです。本当にありがとうございました。



メッセージは一部を除き、原文のまま掲載しています。

■きよか



■佐藤 浩人／横浜には初めて旅行し、こんなにも素晴らしい町に招待していただき、私達家族はとても幸せです。そしてありがとうございました。私達家族にとって初めての旅行でお話を頂いた時から毎日家族と計画をたてながら楽しく会話を重ねてきました。そんな楽しかった横浜の旅もあったという間に終り、何だか淋しい気持ちになりました。宿泊先のナビオス横浜のスタッフの皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。私達家族は必ず一日も早く復興し、皆様への恩返しとさせて頂きます。そして、また皆様と再会出来る日を楽しみに一日一日を頑張っていきます。本当にありがとうございました。

■上舘 進／「がんばっぺしプロジェクト」を立上げ横浜旅行に招待して頂き有難うございました。実施までには大変な御苦労もあつた事と思います。横浜の街を案内されて本当にうれしかったです！孫（中一13才女）と一緒に参加しました（ジジ、ババ）孫も本当に喜んでいました。父親は津波で亡くなりました（31才でした）息子。嫁の実家も流されてすべて消失しました。嫁の両親は仮設住宅に住んでいます。生かされた自分達はこれから元気に前に進んで行きます。中区社会福祉協議会・ボランティア連絡会および関係者の皆さんへ心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。



■佐々木 清子／横浜中区の皆様三陸津波大船渡「がんばっぺし」の行事に参加させて頂き有難うございました。第一に横浜の夜景は素晴らしかったです。何から何まで行き届いた歓迎を受け、皆様の親切身に受け感謝で一ぱいです。又ボランティアの方々の心くばり有難うの一言です。帰りにはたくさんのお土産をいただき申し訳ない気持ちです。皆様の温かい気持を受け頑張ります。有難うございました。

■佐藤 芳彦／この度の大船渡「がんばっぺし」プロジェクト横浜市中区社会福祉協議会様、中区民様、横浜市各種団体、会社、又大船渡出身の佐藤祐子さん、永澤さん、前田さん、斉藤さん、熊谷さん、大勢のボランティアの皆様素晴らしい企画をしていただき2泊3日の横浜市との絆の「旅」一行82名全員で満喫して参りました。飛鳥Ⅱの乗組員の皆様の歓迎、中華街の山手中華学校の大船渡市「加油」（チャンユウ）頑張ろうとの事だそうで獅子舞、中華街の踊り又、22ヶ所のホテルのご厚意、歓迎レセプションでは我々は船渡音頭、地元の御祝（ごいわい）を横浜市民、出席者全員で踊り、歌いました。このプロジェクト、生涯忘れられません。感謝、感激の旅でした。有難うございました。



■日野 律子／前略 皆様お元気でしょうか（きずな&おもいを紡ぐ旅・よこはま）この事業を企画されました皆様に心からお礼申し上げます。大船渡の桜（ソメイヨシノ）は津波の被害を受けたのに4/20開花したのです。横浜中区の皆様のお心あたたまる励ましを受け私達はたしかに失った物が大きかったのですが…。乗り越えられない逆境はない事を実感いたしました。今度はぜひ大船渡へお迎えしたいと思います。

■高橋 秀雄／この度は被災した私達に心のこもった旅の贈物を賜りまして誠に有り難うございました。皆様の物心両面からの大きな贈物は、私達に強く生き抜く勇気と人と人とのつながりの大切さを教えて頂きました。多くのボランティアの皆様の細やかなご配慮で楽しい旅ができ、心から感謝しております。横浜中区の益々のご発展と、皆様方のご多幸をお祈り申し上げ、御礼の挨拶とさせていただきます。

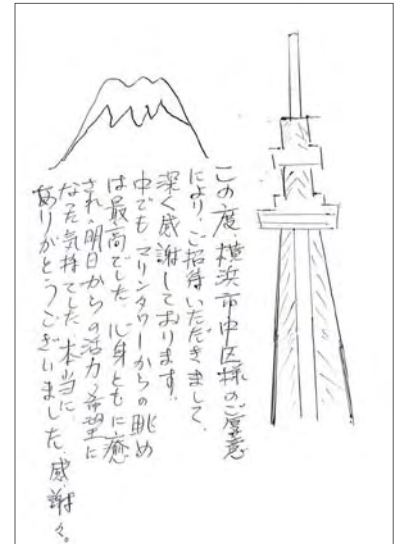
■**浜町・浅沼**／3月末、横浜にまねいでいただきありがとうございました。3.11から1年いろいろなことがあり、でも家族をまもること以外なことも考えることもできずに過ごして・・・？生きてきた1年でした。たくさんの人に支えられ、自分も、家族も地域の復興に向かって頑張っています。「がんばっぺし」を合言葉に！！

■**新沼 照子**／お礼の便りが遅くなった事、申し訳ありません。3月の“がんばっぺし”心プロジェクトにあたっては中区社協職員、在京大船渡の会、ボランティアの皆様をはじめ、中区役所、団体、企業様より、多くのご支援、ご協力の元、ツアーを企画していただき、皆様の“熱意”に感謝いたしております。始めはツアー参加に不安な気持ちもありつつ…仮設や借屋生活で家族以外の人と話をする機会も少ない高齢者の方達が、横浜で職員やボランティアさんに話を聞いてもらえて、肩を叩かれて…気持ちの弾んでくる様子が同行していて伝わってきました。大船渡に帰ってからも（ツアーに参加出来た自信でしょうか。）疲れも見せず元気で以前より辺りとの会話もはずんでいるみたいです。街で行き会う方々も“お蔭様で楽しい旅行をさせてもらった”“お礼を葉書では書き足らず封書で送ったよ。”と笑顔で話し掛けて来ます。若いファミリー世帯からは“はばぎぬぎ しゃすペネ”と声が挙がっています。4月になって、住んでいた（浜町の）通りは、危険地域として、（予想はしていましたが…）長く住み慣れた場所には、戻れないことが発表されました。いろいろと、ご無理、不調法な事も申し訳苦勞をお掛けいたしました。地区の皆さんと今回参加させていただいて、本当に嬉しく思っております。これからも、皆が次の生活に踏み出し落ち着くまで、繋がりを大切にして声を掛け合ってゆける様、頑張ります。本当にありがとうございました。

■**新沼 久美子**／先日3/29～3/31には、すばらしい旅行を提供して頂き、大変ありがとうございました。私は、中学の旅行以来40年ぶりに山下公園へ再訪し、ビルの雑居や観光鳩がいなくなり、年月の経過が忍ばれます。『日本郵船氷川丸』の戦時の砲弾にも免れたモデルとして1960年代頃から停泊しているだけなのに、なんと手入れの行き届いている事かと感動させられました。『人形の家』では世界中から集められた珍しい数々の陳列に魅了させられました。ペリーが来港した拠点の水路はガラス越しにシダとか群生していて昔の風情でした。『豪華客船飛鳥』の世界クルーズの船内の見学では、音楽演奏と喫茶を満喫して最高でした。横浜中華街では、「がんばっぺし大船渡」の旗を目印に社会福祉協議会の若いスタッフの方々が引率下さいました。スタッフ一押しのお店での皆との語らいの昼食会も楽しく、知らなかった人も再発見しました。帰りの日には、横浜山手中華学校の生徒さんたちのきらびやかな民族衣装をまとった舞踊と獅子舞、とても練習を積まれて感謝します。とてもよかったです。地元出身の方々、社会福祉協議会のスタッフの皆さん、いろいろな経験をさせていただき、よい思い出づくりが出来ました。本当にありがとうございます。

■**さくらとジロー**／横浜市中区の皆様、社会福祉協議会、ボランティアの皆様、大変ありがとうございました。私達のために色々楽しませて下さり、帰り際にはお土産まで頂き頭の下がる思いです。我が家は無事でしたが、31才の長男を津波で亡くし悲しんで居ましたが、おかげ様で元気を頂きました。今度はぜひ大船渡においで下さい。感謝、感謝です。

■**及川 文子**



■佐藤 紘子／昨年の大震災以来"絆"と言う文字を目にしなない日は一日ともありません。この度横浜市中区社会福祉協議会、中区町内会、中区女性団体様他多数の皆様方の御支援、ご厚意による横浜への旅でこれ程心にしみ込んだ絆はございません。隣近所、知り合いの息子さん、娘さん、お嫁さん達が横浜市民となられ、ボランティアとして度々大船渡をおとすれ、励まし、見守り又、この度の心くばりのある旅行の企画を実現させて下さり私にこれからの第二の人生を切り開いていこうと決心させてくれました。人が集まると常に輪が出来、歌って踊った"大船渡音頭"を横浜のホテルニューグランドで踊ることになるとは思ってもおりませんでした。大船渡の町の中は大分がれきも少なくなり、新しい大船渡の始まりだと思ふようになりました。夕方、飛鳥Ⅱに乗船する前に近くの三溪園に立ち寄ることが出来、心やすらぐ思いで散策致しました。大船渡も緑の多い町になればと思います。横浜中区の港町の皆様本当に本当にありがとうございました。 合掌

■元大船渡市社協 業務課長 及川 敬介／横浜市中区の皆様お元気ですか?この度の皆様による大船渡市に対する心のプロジェクト、本当にありがとうございました。企画、実施と心あたたまるもてなし、そして、救援物資まで参加者ともども心に残るものと思っております。私事ですがこの3月末で定年になり、少しのんびりしながらボランティアをしたりしております。実は私も親父と家を流されており、これから「我家の復興」を考えているところです。本当に中区の皆様感謝です。

■浜町町内会長 千葉 隆美／金子会長さんを始め各協力団体スタッフの方々にお世話になりました。おかげ様でそれぞれが色々な事で楽しむ事が出来、皆さん大変喜んでおります。今回の旅で、また個々に横浜に行ってみたいと思う方が多くおられたようです。大船渡はやっとこの頃春めいてきております。被災から一年経っておりますが、市街地はまだ焼け野原状態です。復興に向けて、ゆっくり、ゆっくり歩んでいきます。

■志田 寿／まずもって、プロジェクト当日迄、自分の力不足の為に横浜のスタッフの方々には多大なご迷惑をおかけしてしまいました事、お詫び申し上げます。ただ、町内で参加者に会う度に「大変楽しかった」「又、こんな機会があれば良いネ」など喜びの言葉を聞くと、あらためて、このプロジェクトに関わることができたことは本当に良かったと思いました。この機会を与えていただいた横浜のスタッフの皆様方に感謝致します。現在、当地は復興に向けそれぞれの人々が、それぞれの形で前に進みだしております。そんな人々の姿を見ていると、自分も勇氣、元気が湧いてきます。大船渡は早期に復興を成し遂げると思います。そして今度は、横浜の皆様を必ずや御招待いたします。自分もその一員としてもうひとふんばり、がんばります。最後にはなりますが、当プロジェクトに関わっていただいた横浜の方々にあらためて感謝いたしますと共に、皆様がいままでもお元気でいらっしやることを祈念いたしまして結びといたします。ありがとうございました。



■大船渡市長 戸田 公明／今回の『東日本大震災被災者支援～きずな&おもいを紡ぐ旅・よこはま』の実施に際しまして、社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会様をはじめ、中区ボランティア連絡会様、東日本大震災被災地復興支援がんばっぺしプロジェクト様など多くの皆様に対し、大船渡市民を代表して感謝申し上げる次第であります。さて、震災から1年が経過しましたが、お陰様を持ちまして、修繕した事業所の再開や仮設の商店街及び飲食店街は賑わいを見せ、徐々にではありますが、復興に向けて歩みだしております。復興への道程は厳しいものがありますが、困難を乗り越え、夢と希望の持てる新たなまちづくりに取り組んでいく所存であります。今後におかれましても、引き続き、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、横浜市中区の皆様とさらなる交流を通じて絆を深め、発展できますよう心からご祈念申し上げます。



プロジェクトに かかわった方々からの メッセージ

大船渡のみなさんへのメッセージ



横浜 DeNA ベイスターズ



横浜 F・マリノス



横浜 FC



横浜ビー・コルセアーズ

■佐々木 茂雄（中区ボランティア連絡会）／中区に移り住んでから15年、今回のプロジェクトに中区民の皆さんが示された「温かな思いやり」「絆の強さ」そして「パワーの強さ」に少しビックリもし、中区の良さが一段と感じられて大変嬉しく、中区に移って来て大正解だったと思いました。皆さんありがとうございました。本プロジェクトをこれからも続けて、中区の良さを益々高め強め、来るべき大地震に備え、住みよい街づくりの為に皆さんが出来ることを少しずつでも続けませんか！

■松本 研／「心プロジェクト」に賛同いただいた多くの方々に感謝申し上げます。レセプション会場で笑顔にあふれて、会場の方々と一緒に輪となって踊る大船渡の方々の姿が今でも忘れることができません。プロジェクトに賛同されたお一人お一人の支援の輪が大船渡の方々に復興に向けた大きな勇気を与えることができたと確信しています。

■57にわ



■Yocs モリモト／東北震災のみなさんに少しでも力になれてよかったと思います。これからも機会があればぜひ参加させてください。！



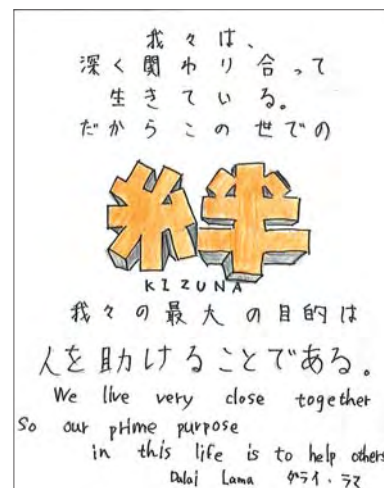
■ゆい／東北震災義援金の募金活動に参加する事ができとてもうれしくおもいます。この活動に参加できた事によって、私は色々な事を知りました。募金活動をしているとき、声をかけても、見もしない人もいれば、小銭でも…と言う人たちに分かれていました。私はそれをみて活動をしている側として少し、なんで1円でもいいから募金してくれないのだろうと思いました。もし次に募金活動をしている所があったら募金をして困っている人を助けたいです。

■ヒヨナ／前回私たちが参加した東北震災義援金募金活動は楽しかったです。早く復興しますように、いつも祈ってます。今回の地震でみんな辛い思いがあると思いますが、元気出して、頑張っていきましょう！

■ボランティア大鳥本読みの会
佐藤 優子／3／11（日）晴天の中大船渡の皆さんが横浜に来て少しでも元気を取り戻し、観光して頂きたいという思いで短い時間でしたが募金活動をさせて頂きました。一緒に参加した本読みの川勝さんの子供達もいい経験になったと思います。自分の子供も次回の時は一緒に参加出来ればと思います。困った時はお互い様という通り、皆で一日も早い復興と皆様の健康を祈っています。又何かの形でお手伝いしたいです。



■酒井 涼

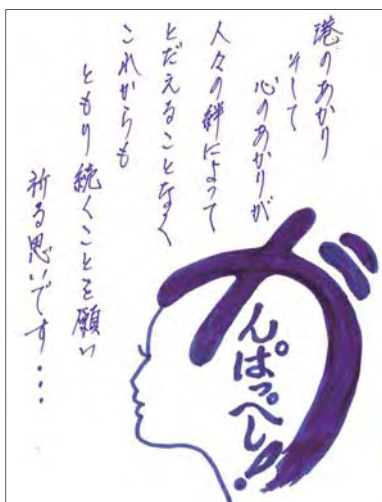


■公益財団法人 横浜YMCA
YMCAかわさき保育園
園長 岩邊 俊久／2011年3月11日の東日本大震災以降、私自身も実に様々なことを考えさせられ世界観、人生観への影響を受けることとなりました。津波で釜石市の友人はご主人を亡くし、仙台市の友人は実家が流されてしまいました。私も釜石でボランティア活動をしました。被災地の光景が脳裏から離れません。大船渡は他人事ではありません。今回のプロジェクトである3／11の街頭募金活動に参加して“人とのつながり”“大船渡との心の絆”を感じられたことは本当に感謝でした。これからも連帯して一緒に歩んで行きたいと思っています。



■西村 尚／私は8年前に定年を迎え、人生の中でも最も幸せな時を送っている74歳の老人です。その老人に想定外の出来事が起こってから1年が過ぎました。昨年ほど多くの涙を流したことはありませんでした。宮古市の昆愛海ちゃんの写真が載った新聞記事には皇后陛下まで心を痛められたとか、曾野綾子さんは「もっとも心に迫る詩を書いた4歳の詩人」と評しました。自分はこの年に幸せな人生を送って良いものか、同じ日本人でありながら、400km離れたところに住んでいる人たちが未曾有の経験をしているのに。そこで昨年は、震災被害で家を失った福島県富岡町の一家に我が家を無償でお貸ししました。趣味のゴルフもやめてすべて義援金として送りました。このたび中区の社協がおおふなと「がんばっぺし」心プロジェクトを企画されたことに大いに心を打たれ、支援させていただきました。大変な災害ではありましたが人々の絆が国際的にも広がったことは、雨降って地固まるとも思えます。若い人たちは二度と経験できない苦難に耐える根性を植え付けられたらと思って生きて行って下さい。がんばっぺし東北

■みなとのヨーコ



■はまっ子／今回は資金提供しかできなかった。次回は案内役等の手つだいもしたい。天候が悪く充分横浜の良さが判ったか心配した。

■横浜中華学院 ウクライナ／「きずなとおもい」を深く感じる事が出来ました。がんばっぺし！

■郵船クルーズ(株)アスカクラブ会長 幡野 保裕／21年目を迎える飛鳥と大船渡の絆を嬉しく思っています。客船の寄港地の有り方を変えて下さったのが入港のたびに暖かく迎えて下さる皆さんのホスピタリティーでした。地元の皆さんとご乗客、乗組員との心の交流が生まれ、花が咲き、実ったと考えます。大震災は皆様の多くの大切なものを奪い去りました、入出港を笑顔いっぱいで見守って下さった方々の尊い命も、言葉を失う悲しみです。震災後「大船渡を元気づけに行こう」をテーマに寄港させて頂いていますが、何時も励まされるのは私達です。「津波は嫌いだが海は大好きと」笑顔で迎えてくれる子供達に感動しました。飛鳥の乗組員、郵船クルーズ社員、そして大船渡ファンのお客様、我々は皆様との絆に感謝して復興を全力でサポートして行きたいと考えています。「がんばれ、大船渡！頑張ろう日本！」

■本牧ストレッチ&パワーアップ教室／★今回の試み、良い事だと思いました。参加したたくさんの方々と声を出し、楽しい会でした。少しはお役に立てたかな と思っています。★大船渡にお友達がいます。震災のあと無事がわかった時は本当に嬉しかったです。助けられることも助けることもあって当然です。自分たちにできることをやりたいと思っています。

■梁／楽しかった！！！！日本頑張ってください^v^・・・また参加したい

■横浜中ロータリークラブ 齋藤 栄一／ゆっくり少しずつ進んで下さい。小さな応援をずっと続けて行きたいと思っています。

■市議会 福島 直子



■社会保険横浜中央病院・看護局 吉田 宮子／私の田舎も福島の浪江町であり、震災と原発の被害を受けており、今だ田舎へは帰れません。あの当時は、命を守る事で精一杯で、一寸先も見えない状態でした。しかし、一人一人の方々の温かい思いが届き、一步一步前に進むことができています。私もおおふなと「がんばっぺし」心プロジェクトに参加させていただきました。私はその話が会議で出された時私自身のことではありませんが嬉しく思いました。これからも、この様な運動を続けていただければと思います。心の傷が少しでも癒される様な運動を応援いたします。

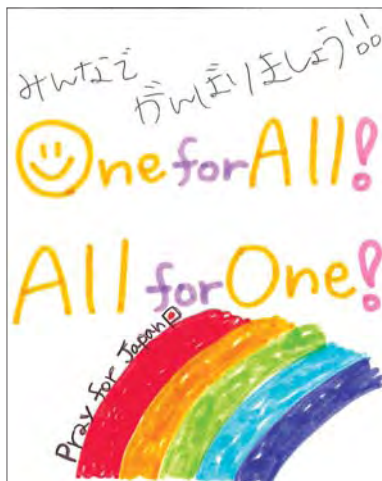
■KIM／初めてこの募金活動に参加し日本人の絆の強さを感じました。私も勉強がんばりたいと思います。





■加藤歯科医院 加藤 晶子／阪神淡路大震災後、日本は地震活動期に入ったことは、まぎれもない事実です。これから、首都圏直下型南海、東南海、東海地震が発生する可能性が大です。歴史はくりかえすと申しましょうか、平安時代末期から鎌倉時代も現在のよ様な日本の状況下でありました。先人達が困難を乗り越える事が出来たのですから、私達現代人も同様な事ができることを信じています。これからは日本人が国民が団結してこの国を守っていかねばならないと思います。

■Smile☆



■日ノ出町 高齢者 町ぐるみ健康づくり教室／実際に震災を経験したことがない人間が言えませんが想像以上に大変な事だと思います。自然がもたらす恐怖と脅威は計りしれません。その事を思い被災された方々に対して出来る事をしていきたいと考えています。プロジェクトご苦労様です。

■よつ葉会 代表 菅原 幸枝／今回、生まれてはじめて街頭募金を体験しました。多勢の人々に呼びかけるのはドキドキでした。中学生も参加していましたが、一所懸命声をかけている姿に感動しました。これからも大船渡をはじめ被災地の方々の支援をして行きたいと思っています。

■ミウリン／3月11日の技能会館の人だかりの多さ、びっくりしました。誰かからの呼びかけを区民は待っていたのでした。私もその1人だった。的を得た企画ありがとうございました。

■中区ともえ会 KK／今回の“おおふなと、がんばっぺし”にはボランティアの一員として関内駅南口の募金活動に参加させて頂きました。横浜市民としていつ災害に会うかもしれない時ですでお互い様の精神で協力しました。これからもがんばっぺしの心で微力ながら応援していきます。がんばっぺし！

■本牧・根岸地区社会福祉協議会 本牧・根岸地区連合町内会 本牧元町東部町内会／おおふなと「がんばっぺし」心プロジェクト事務局の皆さん 私達は日本人として共有している「ありがとう」の心をお伝えしたに過ぎません。失いかけていた我々の気持ちを改めて再認識した事を心から、こちらからお礼申し上げるべきだとさえ感じております。「すみません」「ありがとう」が共通の言葉として使われていることに異感さえ感じているこの頃です。「ありがとう」の言葉を大切にしたいものです。

■横浜倶楽部 古澤 守／がんばっぺし、プロジェクトご参加の皆様、おつかれさまでした。すべては感謝の交流が大切かと思えます。長く長く、交流が続く事、念じます。ご苦労様でした。私共の横浜倶楽部は長野県栄村と交流しております。我々はまだまだ倅せと感じております。私達こそありがとうございました。

■葦の会 瀬之間 清／大船渡の皆様3日間の横浜への旅、最終日の中華学校での行事のお手伝いをしました。大船渡の皆様はまだまだ厳しい環境に置かれている。それでも中華学校生徒の獅子舞、民族舞踊に笑顔で拍手されているのを見て当方も心を癒されました。

■横浜中華学院 霞／人と人との絆の強さ、温かさを感じました。このプロジェクトを続きたいです。また参加したいと思っています。

■王 美慧



■横浜市中区精神保健福祉ボランティアグループかもめサポート／このたびの大災害に遭われた方々に対しては、我々グループ一同、何か支援できることはないかと、心を痛めておりました。開港記念会館に張りめぐらされた大漁旗や、津波被害の写真を拝見して、何か支援をしたいという気持ちが高まりました。街頭募金や、グループからの支援金等、ほんのさゝやかな支援しか出来ませんでした。大船渡市の方々のお役に少しでも立てば嬉しく思います。今後も協力できることがあれば、させていたゞきたいと思っています。皆さん、どうぞ頑張ってください。

■エスカル横浜（横浜海員会館）／協力を申し出て、実のところ被災者の方々にどう対応したら良いのか悩んでいました。ところが大船渡から9時間掛けて到着された皆様がすごくお元気なことに驚きました。80代2人、70代2人と高齢にもかかわらず、部屋での休憩も取らず積極的に“この横浜を楽しもう”という気持ちが前面に出ていました。皆様のそのような様子を見てこちらが元気をもらいました。また来年協力したいと思います。



■ボランティア大鳥 レインボーバード



■匿名希望／今回ボランティアとして大船渡の皆様と横浜を観光させていただきました。震災直後のこと、大船渡のことなど貴重なお話をありがとうございました。多くの時間を参加された大船渡のみなさんと過ごすことができたことを嬉しく感じています。忘れられない一日となりました。今回のプロジェクトを通し、参加しなかったら出会うことができなかった方々とお会いできたことを感謝しています。中区の人々と大船渡の人々がつながったプロジェクトと感じました。このご縁を機に、大船渡にも足を運びたいと思います。

■まな板さん／被災地の方々の為に力を合わせて助け合うことで心がやさしさを満たされました。このような経験ができ良かったです！

■かぼちゃの会 代表 浅沼 寿子／3.11東日本大震災から1年が経ち私達は一生わすれることは出来ません。今回は「大船渡」の皆様を横浜にご招待出来ましたのも市、区民の皆さん企業、団体、ボランティア、中区社協様の協賛で2泊3日の旅が無事終了し人と人との「絆」が深まりました。楽しかった旅の思い出がいままで心に残ればと思います。今後も復興にはまだまだ長い時間がかかりますが微力ですが資金集めの街頭募金活動に参加し、支援させていただきたいと思います。被災された皆さんから元気と負けな「がんばり」を頂き感謝しております。

■清水 美智子／“平成23年3月11日”私たちこの日を忘れる事なくこれからの長い年月をかけて取組んでいかなければならない課題でしょう。思えば22年3月娘と2人南三陸へ旅しました。自然豊かな土柄、人情厚いもてなしに心満たされた旅でした。浄土ヶ浜すばらしかった。1日も早い復興を願わずにはられません。街頭募金あれほど多数の参加皆さんの何かしたいと云う思いが伝わりで協力下さる方々のご苦労さまと云う言葉にありがとうも涙声になっている自分に気づき胸がつまりました。これからもプロジェクトに参加何かしらのお手伝いさせて下さい。

■横浜中華学院 薛 久美子／先月、募金活動に参加しました。最初は正直街の人に声をかけるのも不安で、色々ととまどってました。だけど他の参加者達の頑張っている姿を見て、自分もできるだけ力をださなきゃと思い、勇気ができました。私達の小さな呼び声がすこしでももっと人々の東大震災への関心を高めることができるなら、私達の小さな力が東日本大震災の被災者達の力になれるなら、本当に嬉しくて、満足です。天災はしかたないです。でもそこで負けないで、挫けないで笑顔で立ち向かうこそ、日本人の力です。みんなで頑張って立ち向かいましょう。日本は絶対に負けません！！
The Sun will rise again!

■本牧・根岸地区民生児童委員協議会 瀬尾 きみ子／絆 日本を強くする言葉一位。温かさを感じる、佳い文字ですね！平成23年3月11日、この日を私たちは忘れることが出来ません。被災された人々のことを思うと、一日も早い復興を願わずにはられません。私たちに出来ることは、被災地を思う気持ちを、いつも持ちつづけ小さなことですけれども、募金活動や、東北地方の観光地をめぐり、又農漁業の産物などを、極力購入するなど、常日頃心がけております。また、次の機会にも、みなさまにお声をかけ、参加させて頂きます。いつもご配慮頂きまして、ありがとうございます。

■ノエル



■**港の憩の場**／参加された皆様の思いのほか元気な姿・強い心にとても勇気付けられました。とても大切な事であることは勿論のこと、一施設が行う協力・ウェルカムは、即時的で短期的でとても小さなものになりがちです。もし、それがたくさん集まれば大きく継続的な力となる。『おおふなと「がんばべし」心プロジェクト』は、それを地域として実現できたとても大きなプロジェクトだと思います。人は自身の故郷を大切に人とのつながりを持ち共に生きてゆくのだと思います。横浜市中区の各施設がそれぞれの力を集めて、地域として被災者の方々の故郷を尊重しこのプロジェクトを実施したことはとても大切なことだと思います。おそらく心癒されず少しの間でも故郷を離れられなかった方々もまだ沢山いらっしやると察します。このプロジェクトが継続性を持って実施され、そのような方たちに次回はいらっしやっていただける事を心より願っております。

■**太洋歯科クリニック 蕭 敬意**／震度7という未曾有の大地震が襲ってから1年。当時、津波や被害状況を見て、同じ日本で起きているのか・・・と心を締めつけられました。今回のプロジェクトを通して、被害にあわれた方々の力に少しでもなれたら幸いです。1日も早い復興を心より願っております。

■**山下町町内会 栗田 繁夫**／精神的、肉体的、経済的に大きな打撃を受けた大船渡市の皆さんがほんのひと時、天候不順な横浜で安穏な日を過ごして頂けたでしょうか。私たちに出来ることはささやかなことですが、忘れかけていた助け合いの心を取り戻すことが出来ました。一日も早く元の生活に戻れることを願っています。金子会長はじめこのプロジェクトを支えてくれたスタッフの皆さんのご尽力に感謝いたします。

■**サトリン・さといも**／いつでもあなたのそばにいる

■**石油王**／今回、このプロジェクトに参加して思った事は人と人が助け合う事はとても大切な事だと思いました。なので、こういうプロジェクトは続けた方がいいと思います。

■**アセン**／被災から一年が経ちました。私たちも応援しています。だから被災者の人たちも復興のため、頑張ってください！！

■**匿名希望**／事務局スタッフの皆様お忙しい中報告書等お送り下さり恐縮しています。大地震、津波、原発事故。テレビを見て心いためています。1年たった今でも復興すすまず、私に何が出来るのかしら。86年災害に遭わずに生きて来ました。募金これしかありません。プロジェクトの次の活動も後援したいと思っています。被災地の皆様の健康をお祈りします。

■**森 志津枝**／私は大船渡のお隣り、“陸前高田市”出身です。実家は流されましたが、身内は皆無事でした。3月24日の東北道通行可能と同時に父と姉を迎えに行き、この3月31日迄、栃木で過ごしてもらいました。震災当時は絶望と先の見えない事への諦めでたぶん父は栃木で最後を…と覚悟していたと思います。その後、現地の現状と相反して高台移転先が決まり、造成の時期も明末されると聞くともう心は“帰ろう”でした。やはり最後は“故郷で…”です。大船渡も陸前高田も震災がなくても年々過疎化は進み、将来に不安がありました。でもやはり私たちにとってもかけがえのない故郷、いつか帰るその日までに明るい故郷となって迎えてもらえるよう何年でもかかわり、力を尽くして行きたいと思います。中区の皆様、縁もゆかりもない私達に本当にありがとうございます。とても力になります。

■**ペンネームTEI**／みんなと一緒に参加できて、もっとも楽しいです。でも東北に住んでいる人達は、まだつらい生活をしています。それを思いだしたらかなしく思います。これからも少しでも被災者のために協力したいと思います。



■**横浜YMCA 薄井 佳代**／短い時間でしたが、大船渡のみなさんと一緒に過ごしたひとは、とても貴重な時間で、今も、そしてこれからも大切に、私の中で生きています。横浜の街をご一緒に散策しながらお話ししたことは勿論ですが、昼食の時間を大きくオーバーしても溢れ出る様々なお話、止まらない思いの中に、お一人おひとりが、どのように「生命」と向き合っているか、そしてご自身と向き合っているかを感じずにはいられませんでした。今も厳しい中にいらして、もっともっとお話ししたいこともおありだろうと、お話を聴かせていただくだけの私でしたが、みなさんが前を向いて進み続けていらっしやることに、私は、いったい何が出来るのだろうかかと、私自身、たくさん考える力が与えられたと思います。今すぐ近いところで何かをすることはできませんが、私は私で今すべきことに誠意をもって励み、その中で大船渡のみなさんに思いを馳せ、離れていても時を共に過ごしていることを決して忘れることなく、これからも、大船渡のみなさんと共にありたいと願っています。そして大変な厳しい状況の中にある多くの方々の心が、少しでも豊かになれることを祈っています。みなさんの笑顔がとても印象的でした。そしてその笑顔に、大変な中にある尊い強さを感じました。でも日々の生活では、心も身体もいつも強くあることは難しいこともたくさんあると思います。どうか、いつもみなさんお一人おひとりに健康が与えられ、お元気で新たな力を育む恵が与えられますように。今度は、私が大船渡を訪ねたいと思っています。ありがとうございました。

WELCOME TO PORT OF YOKOHAMA

エスカル横浜（横浜海員会館）支配人 上原 啓二郎



「おおふなと」のみなさん
ようこそ横浜へ
みんなで一緒に「がんばっぺし!」

大船渡の皆様

ホテル横浜ガーデン スタッフ一同



横浜は、同じ港町でもあり、中華街にみなとみらい地区もあり「見る・食べる・遊ぶ」の三拍子が揃っております。是非いろいろな所に足を運んでいただき、その後は、ゆっくりホテルで、お寛ぎください。スタッフ一同お待ちしております。

大船渡の皆様 ようこそ、港町横浜に!

コンフォートホテル横浜関内 スタッフ一同



この度の東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。大船渡の皆様のお手伝いができますことをスタッフ一同、大変嬉しく存じます。お客様には快適にお過ごしいただけるよう努めさせていただきます。

大船渡の皆様、ようこそ 横浜へ!

スーパーホテル横浜・関内 スタッフ一同



東北地方太平洋沖地震で被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。お客様へのよき思い出として頂ける様、精一杯のおもてなしをさせていただきます。

大船渡の皆様へ 横浜でゆっくりおくつろぎ下さい。

ホテル JAL シティ関内 横浜 スタッフ一同



東日本大震災におきまして被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今回の「心プロジェクト」が大船渡の皆様に一瞬でも心休まるご旅行となりますようお願いしております。それでは大船渡の皆様!ホテルスタッフ一同皆様のお越しを心よりお待ちしております。おおふなとの皆様 「がんばっぺし!」

日本みんなで がんばっぺし!

ダイワロイネットホテル横浜関内 スタッフ一同



大船渡の皆様、横浜へようこそ。震災からの復興でお忙しい時期に横浜までお越しいただき、誠にありがとうございます。横浜はどこに行っても楽しめる所ばかりですので、是非、横浜での滞在を満喫して下さいね。皆さまの素敵な思い出になりますよう、スタッフ一同心よりお待ちしております。

大船渡の皆様 皆様の来浜を心より歓迎申し上げます。

ダイワロイネットホテル横浜公園 支配人 富田 光就



東北の同僚達から震災の話聞き「皆、大変な思いや悲しみと向き合いながら復興に向けて前に進んでいる。」という話を聞きました。大船渡の町も甚大な被害があったと伺い、私共もとても悲しい思いを抱いたと共に、復興に向けて皆様にエールを届けたいと思いました。今回の横浜でのご滞在が良い思い出になって頂ければ嬉しい限りです。スタッフ一同

まもなく1年になります

ホテルテラス横浜 支配人 村田 俊介



大船渡の皆様、来浜を心より歓迎致します。3月11日は、一生忘れることができません。復興に向けて、一生懸命頑張っている姿に心を打たれます。Never Give Upの気持ちを持って頑張ってください。横浜から応援しています。

大船渡の皆様 横浜みなとみらいへようこそ!!

東横 INN 横浜桜木町 スタッフ一同



大船渡の皆様横浜みなとみらいへようこそ!!東横イン横浜桜木町スタッフ一同心よりお待ちしております。横浜でのひとときをお楽しみくださいませ。

ようこそ港町ヨコハマへ!!

東横INN横浜スタジアム前新館 スタッフ一同



大船渡の皆様が今回のご滞りで楽しい思い出作りをしてくれたら私たちも大変うれしく思います。スタッフ一同心からのおもてなしをさせていただきます。

ようこそ港町ヨコハマへ!!

東横INN横浜スタジアム前本館 スタッフ一同



このたびは遠方横浜まで足をお運びいただき大変うれしく思います。私たち東横インの東北の仲間たちから大船渡も大変な被害にあわれたことを伺っております。今回の横浜でのご滞在が皆様の良い思い出になりますようスタッフ一同心よりお待ちしております。

大船渡の皆様へ 皆様のお越しを心より歓迎申し上げます。

東横 INN 横浜みなとみらい線日本大通り駅前 スタッフ一同



ようこそ横浜へ!!美しい港の風景、歴史的な建物、中華街をはじめとする食文化、横浜ならではの魅力・楽しさを、人との出会いを通じて体感してください。復興にはまだまだ時間がかかると思います。お互い手を取り合い、復興の花・こころのつばきを咲かせましょう!!

がんばっぺし 大船渡!!

歓迎 大船渡の皆様へ

ナビオス横浜 スタッフ一同



ようこそ 港町ヨコハマにお越しくださいました。全ての港は海を通じてつながっており、横浜と大船渡もまた然りです。ナビオス横浜は、海と港を愛する者たちの憩いの場。海を愛するものどうし共感し、共に復興してゆく一助となれば幸いです。

日本を代表するクラシックホテル

ホテルニューグランド 総支配人 吉田 一継



東日本大震災において被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。大船渡の皆様!お元気で過ごしてはいかがでしょうか?3月末に横浜にお越しいただくキャンペーンに、私どもホテルニューグランドスタッフも首を長くしてお待ちしています。日本発祥メニューのシーフードドリア・ナポリタン・プリンアラモードは、ぜひとも食していただきたい逸品です。

ようこそ横浜

ホテルパークレーン横浜 スタッフ一同



おおふなとの皆様、未曾有の大災害に遭われ、1年が過ぎようとしておりますが、まだまだ傷は癒えないと思いますが、一時でも笑顔を取り戻せれば幸いです。横浜を思う存分楽しんでくださいませ。スタッフ一同お待ちしております。

大船渡の皆様 ようこそ横浜へ

HOTEL PLUMM/COSMO Y. 従業員一同



あの震災から早くも一年が経とうとしています。被災に遭われた方々の心の傷が癒えることは、無いでしょう。しかし いつまでも同じ場所に踏みとどまっていたは何もうまれません。今回のプロジェクトを機に新しい一歩をそして前へ前へ皆で進みましょう。横浜市民全員で応援しています。がんばっぺし 大船渡 !!

1日も早く復興が叶えられますように

メルパルクYOKOHAMA 総支配人 吉枝 信夫



未曾有の大災害に遭遇されながら、復興を目指す大船渡、東北の皆様の実情な姿は日本人としての誇りを感じ、我々も勇気をいただいております。1年近く経った今も、未だ厳しい状況がつづいているようですが、メルパルク横浜の社員一同、1日も早く復興が叶えられるよう祈念いたしております。

大船渡の皆様へ

ホテルモンテレイ横浜 宿泊支配人 稲 学



横浜で心休まるひとときをお過ごしくださいませ。スタッフ一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

大船渡の皆様、ようこそ横浜へ

横浜桜木町ワシントンホテル 宿泊課担当課長 加松 武治



おおふなどの皆さん、こんにちは。横浜桜木町ワシントンホテルです。まず、昨年の震災で被災された皆様にお見舞い申し上げます。さて、今回、大船渡市と横浜市は同じ「港町」とい

う共通点から、皆様のご宿泊施設としてプロジェクトのお手伝いをさせていただくことになりました。被災地の皆様におかれましては、未だにご苦勞が絶えないものと思いますが、今回の横浜でのご滞在が、心を癒す「絆の旅」となるよう、スタッフ一同、精一杯務めさせていただきます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

大船渡の皆様 心からお寛ぎくださいませ

リッチモンドホテル横浜馬車道 スタッフ一同



この度は横浜まで大船渡の皆様にご足をお運びいただけること、大変嬉しく思っております。当日は皆様にご心からお寛ぎいただければと思っておりますので、お気軽に何でもお申し付けくださいませ。スタッフ一同心よりお待ちしております。

横浜へのご滞在を楽しんでくださいませ

ローズホテル 横浜 総支配人 李 宏道



この度は、横浜中華街「ローズホテル横浜」へお越し頂き、誠にありがとうございます。おおふなと「がんばっぺし」心プロジェクトでの横浜へのご滞在を楽しんで頂けますよう、スタッフ一同、心よりおもてなしをさせていただきます。

お会いできる日を楽しみにお待ちしております。

よしもとおもしろ水族館 スタッフ一同



大船渡市のみなさま この度の大震災、心よりお見舞い申し上げます。立春を過ぎたとはいえ、まだまだ寒い日が続いております。くれぐれもお体に気をつけ大切になさってください。ほんのわずかな時間でも、心が和む、楽しい一時を過ごして頂けたらと思います。皆様とお会いできる日を楽しみにお待ちしております。





資料集

おおふなと「がんばっぺし」心プロジェクト趣意書

1 趣旨

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、1万5千人以上の方が亡くなり、今なお、4千人弱の方が行方不明となっています。大船渡市沿岸部地区は、津波のため家屋や多くの方が海に流されました。もとの地区には戻れないため、住民も減り、やむなく町内会は解散しました。

昔ながらの地域の絆が固い地区ではありますが、現在は、仮設住宅やアパートにばらばらに分かれた生活を余儀なくされ、なかなか会う機会を作れていないのが現状です。

横浜市と大船渡市は、「港町」という共通点で結ばれています。大船渡港は岩手県唯一の国際港であり、横浜船籍の飛鳥IIが20年間連続して寄港しています。震災時には、クルー有志が、大船渡市民の方々と共にボランティア活動に参加しております。

同時代に生きる人として、被災地の方々と想いを分かち合い、共に明日への希望を紡ぐため、沿岸部地区のうち、浜町地区・須崎地区の方々を中区にお招きする事業を計画しました。地域の方々が旧交を温め、人と人の絆をより一層強めていただくとともに、中区が第二の心のよりどころとなるよう、長期的な視点で、被災地の方々と豊かな関係を築いていければと思います。これは中区の「中なかいいネ！ 中区地域福祉保健計画」の目指すところでもあります。

ぜひ、多くの方にこの趣旨に御賛同いただき、長期的にこのプロジェクトに関わっていただければありがたく存じます。

2 日程

平成24年3月29日(木)から3月31日(土)まで

3月29日(木) 歓迎セレモニー 歓迎レセプション (中区泊)

3月30日(金) 終日自由行動 飛鳥IIティー・パーティー (中区泊)

3月31日(土) 横浜山手中華学校獅子舞見学

3 来訪者

大船渡市大船渡町浜町地区・須崎地区の皆様 80名

発起人: 横浜市中区社会福祉協議会 中区ボランティア連絡会
東日本大震災被災地復興支援がんばっぺしプロジェクト

後援: 横浜市中区役所 横浜市中区連合町内会長連絡協議会
大船渡市役所 さんりく大船渡人会

中区民生委員児童委員協議会 中区保健活動推進委員会

社団法人横浜港振興協会 横浜五日会(横浜市ホテル連絡会)

中区青少年指導員協議会 中区スポーツ推進委員連絡協議会 中区消費生活推進協議会

伊勢佐木消防団 加賀町消防団 山手消防団

横浜市中区医師会 横浜市中区歯科医師会 横浜市中区薬剤師会

中区女性団体連絡協議会 中保護司会 中区更生保護女性会 中区老人クラブ連合会

横浜中ロータリークラブ 横濱ロータリークラブ ライオンズクラブ国際協会330-B地区

横浜商工会議所 横浜山手中華学校 関東学院大学 横浜中央YMCA

協力: 横浜DeNAベイスターズ 横浜F・マリノス 横浜FC 横浜ビー・コルセアーズ

個人協賛

秋津 茂	池田 重隆	有波 良枝	安西 宏元	飯田 福子	池川 忠秀
石川登三江	石川 直之	石渡 茂子	磯 優二郎	板垣 好昭	稲川 雅巳
今村 嘉男	梅原 勲	榎本 元	遠藤 菊江	遠藤 一	遠藤 実
大嶋 生雄	大槻 忠福	岡久 陽子	岡田 健二	岡田 幸恵	小田 茂子
岡島 浩	勝山小夜子	加藤 雅己	加藤 正泰	金子 大	金子 豊
金野 龍男	上保 光正	唐崎 旬代	川上 桂司	河田 廣之	菊地 憲幸
菊地 邑允	栗田 繁夫	小林 光政	斉藤 徳雄	齋藤 栄一	斉藤 理恵
坂井 久子	坂田 祥司	佐々木茂雄	佐藤 祐子	篠塚 瑛	島本 洋一
清水 浩一	施 梨鵬	蕭 敬意	白須 治美	白須 良	新堀 ミヤ
杉島和三郎	志田 泰重	高須 秀夫	高木 則文	高橋 宏子	高橋 伸昌
高橋 徳子	高畠 一義	高梨佐和子	田代 慶子	田代信太郎	谷川 操一
田中 民江	田中美和子	千田 晴久	千葉スエ子	千代田なが子	津國 秀子
寺道 由晃	徳永 福次	柘植 邦康	中村桂一郎	中村 徹	永澤 信見
永持 嬌子	西川 大介	西隈 和晏	西村 尚	西山 敏榮	西山 吉洋
野坂 定	野口 真里	服部 範二	花崎久仁子	平山 正晴	福田 京子
藤澤 君子	藤平 保之	船橋 佳子	星野 江世	程島 正雄	堀内 和子
前田 成隆	牧野 孝一	増山 紘征	松浦 徳治	松澤 秀夫	水上 涼子
三橋ヤエ子	宮崎 衆一	宮崎 妙	村田 二郎	村田 政男	森 志津枝
森 幸康	森田 真実	松為 信夫	松浦そよ子	町田 勝子	安田 利幸
柳澤 宏行	山中 英史	山本 章雄	依田 龍治	渡邊 哲	

他 匿名33名(計152名)

団体協賛

異業種交流会“横濱倶楽部”
 石川町四丁目町内会
 上野町1・2丁目東部自治会
 牛山事務所
 柏葉町内会
 KAMEの会
 寿地区自治会
 鷺山竹之丸町内会
 新生クラブ
 新本牧地区連合町内会
 精神保健福祉ボランティアグループかもめサポート
 第一北部地区社会福祉協議会
 第二地区連合町内会
 第四地区南部保健活動推進委員会 有志
 第4地区北部社会福祉協議会
 第6地区保健活動推進員・歩け歩け会 有志
 中区環境事業推進委員連絡協議会
 中区障害者団体連絡会
 中区第1地区中部連合町内会
 中区第一北部地区民生委員児童委員協議会 有志
 中区第二地区社会福祉協議会
 中区保健活動推進委員会 有志
 西之谷町内会
 西之谷睦町内会
 根岸町友の会
 ハートランド
 ベイサイド新山下自治会
 ボランティアネットワーク21神奈川
 ほんごう寿会
 石川打越地区連合町内会
 伊勢佐木町1・2丁目地区商店街振興組合
 上野町三・四丁目妙香寺台町内会
 大鳥学援隊
 金沢区災害ボランティアネットワーク
 寿地区社会福祉協議会
 寿地区民生委員児童委員協議会 有志
 NPO法人 シャロームの家 有志
 新本牧地区社会福祉協議会
 新山下1丁目自治会
 赤英長寿会
 第三地区青体指協議会 有志
 第4地区南部連合町内会
 第4地区北部連合町内会
 第四地区南部社会福祉協議会
 中途障害者地域活動センター チャレンジ新生 有志
 中区更生保護女性会
 中区女性団体連絡協議会
 中区第1中部地区社会福祉協議会
 中区第三地区民生委員児童委員協議会 有志
 中区第二地区保健活動推進委員会 有志
 中区老人クラブ連合会
 西之谷福寿会
 根岸町自治会
 仲尾台・豆口台・滝之上自治会
 ひばり会
 ベイサイド新山下福寿会
 本郷町3丁目第1町内会
 本牧大鳥自治会

本牧大鳥クラブ
本牧三之谷町内会
本牧元町新町会
本牧・根岸地区連合町内会
本牧・根岸地区保健活動推進委員会 有志
本郷町3丁目第2町内会
本郷町1丁目町内会
本牧1丁目中台町内会
本牧2丁目南部町内会
豆口台上町会
元町八千代会
やなぎの会
山下町町内会
大和町立野町内会
横浜市中区医師会
横浜市中区薬剤師会
横浜ロータリークラブ

本牧2丁目北部町内会
本牧元町東部町内会
本牧・根岸地区社会福祉協議会
本牧・根岸地区民生委員児童委員協議会 有志
本牧緑ヶ丘町内会
本郷町2丁目町内会
本牧町1丁目東町会
望洋自治会
麦田町町内会
老人クラブ 百々寿会
山下町高砂会
山手東部町内会
横浜漢点字羽化の会
横浜市中区歯科医師会
横浜中ロータリークラブ
吉田町町内会

他 匿名1団体(計92団体)

法人・企業協賛

NPO法人 新
財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
株式会社 江戸清
株式会社 小田原屋
株式会社 ガトーよこはま
関東学院大学
きらり
有限会社 ケアサービスコパン
株式会社 さいとう製菓
社会保険横浜中央病院
有限会社 新和工業
相鉄ビジネスサービス 株式会社
太洋歯科クリニック
ダイワロイネットホテル横浜公園
谷口不動産
東福院
東横INN横浜スタジアム前新館
東横INN横浜みなとみらい線日本大通り駅前
有限会社 馬場機工
平山観光 株式会社
藤田観光 株式会社 横浜桜木町ワシントンホテル横浜ワシントンホテル
株式会社 プレナス
株式会社 ホテルニューグランド
HOTEL PLUMM/COSMO Y.
ホテル横浜ガーデン
松本工業
メルパルク 株式会社 メルパルク横浜
マリエンバード工房 株式会社
郵船クルーズ 株式会社
有限会社 横浜清工
株式会社 横浜フリエスポーツクラブ
横浜マリノス 株式会社
横浜山手中華学校
利久庵
株式会社 ローズホテルズ・インターナショナル

有馬歯科医院
エスカル横浜(横浜海員会館)
有限会社 大野製作所
加藤歯科医院
川本工業 株式会社
宗教法人 観音院
株式会社 クリーンアドバンス
コンフォートホテル横浜関内
さくら湯
新横浜グレイスホテル
株式会社 スーパーホテル スーパーホテル横浜関内
曹洞宗 大本山 總持寺
ダイワロイネットホテル横浜関内
株式会社 タウンニュース社
株式会社 つま正
東横INN横浜桜木町
東横INN横浜スタジアム前本館
財団法人 日本船員厚生協会 横浜国際船員センター(ナビオス横浜)
株式会社 東日本銀行 横浜支店
株式会社 ヒューマンスカイ
ブリーズベイホテル 株式会社
ホテルJALシティ関内横浜
ホテルパークレーン横浜鶴見
ホテルモンテ横浜
株式会社 本牧葬儀社
万葉倶楽部 株式会社 横浜みなとみらい館
株式会社 モーターボートヨコハマ
株式会社 モスフードサービス
社団法人 横浜港振興協会
横浜スポーツエンタテインメント 株式会社
横浜人形の家
横浜マンダリンホテル
よしもとおもしろ水族館
リッチモンドホテル横浜馬車道

(計69法人)

3.11 街頭募金協力団体名簿

(敬称略・50音順)

葦の会
石川打越地区社会福祉協議会
磯子区災害ボランティアネットワーク
ガールスカウト神奈川県第85団
神奈川県生活協同組合連合会
KAMEの会
港北区災害ボランティア連絡会
財団法人 三溪園保勝会
NPO法人 市民の会 寿アルク
障害児地域訓練会チューリップ
精神保健福祉ボランティアグループ かめサポートすみれくらぶ
第一北部地区民生委員児童委員協議会
第二地区社会福祉協議会
第四地区南部社会福祉協議会
地域作業所 えちご家
NPO法人 チャレンジ新生
仲尾台中学校
中区更生保護女性会
中区女性団体連絡協議会
なか区民クラブ
NAPAS
根岸シニア体操教室
NPO法人 PWL
ひばり会
フローネ倶楽部
ボランティア大鳥本読みの会
ボランティアネットワーク21神奈川
本牧ストレッチ&パワーアップ体操
本牧・根岸地区民生委員児童委員協議会
NPO法人 矢車草の会中区支部
百合の樹
横浜災害ボランティアネットワーク会議
横浜市社会福祉協議会
横浜中華学院
横浜雙葉高等学校
よつ葉会
ろばの家
横浜市ボランティアセンター個人登録ボランティア

NPO法人 新
石川打越地区民生委員児童委員協議会
大原法律公務員専門学校横浜校
ガールスカウト横浜市連絡会
かぼちゃの会
港南区災害ボランティアネットワーク
サークル・アイ
シオン
NPO法人 シャロームの家
新本牧地区民生委員児童委員協議会
第一中部地区民生委員児童委員協議会
第三地区社会福祉協議会
第四南部健康づくり教室運営委員会
第四地区北部民生委員児童委員協議会
地域支えあいの会赤い靴
デイセンターつぼみ
中区おもちゃのドクターネットワーク
中区肢体障害者福祉協会
中区ともえ会
中区役所
西区災害ボランティアネットワーク
力の会
日ノ出町高齢者町ぐるみ健康づくり教室
ふれあいサロン潮風
ボランティア大鳥
ボランティア竹之丸
本牧三之谷茶話会
本牧中学校
緑区社協ボランティア分科会
大和町・立野町内会 有志
横浜建設一般労働組合中支部
横浜栄・防災ボランティアネットワーク
横浜市母子寡婦福祉会
横浜隼人高校
横浜YMCA
楽だ!体操
中区ボランティアセンター個人登録ボランティア
(計73団体 約700名)



横浜から 被災地へ つなぐ絆 つづく支援

タウンニュース中区・西区版
(平成24年1月26日号)



招待に向けた話し合いが続けられている

東北随一の港町として知られる大船渡の市民を、同じ港町の横浜に招待したい。
こうしたプロジェクトが、中区で進められている。中心となっているのは社会福祉協議会やボランティア連絡会、区役所など。企業や団体も次々と名乗りを上げるなど、支援の動きは区内全域へと広がりをみせている。
「おおふなど」「がんばっぺし」心プロジェクト」と名づけられたこの支援活動。3月29日から31日まで2泊3日の日程で大船渡市民80人を横浜に招き、横浜観光を楽しんでもらおうというのだ。
岩手県唯一の国際港で、横浜船籍の豪華客船「飛鳥II」が20年連続で寄港するなど、横浜とも縁が

「港町」の縁つなぎ 市民80人を招待へ

中区→岩手県大船渡市

深い大船渡市。中区社協の担当者は「被災者の皆さんに明日への希望を持つてもらおう」とも、中区民に被災者の想いを共有してもらえれば」と話す。
昨年第2期がスタートした「中地域福祉保健計画『中なかいいネ』」の趣旨にも合致すると、中区役所も積極的に支援。すでに複数のホテルによる宿泊施設の提供や奉仕団体が協力を申し出るなど、支援の動きが広がる。
今回招待する大船渡市大船渡町浜町地区は、沿岸部に位置し、津波による壊滅的な被害を受けた。大船渡市出身のIT企業経営者で、同プロジェクトにおける大船渡とのパイプ役ともなっている永澤信見さんは「バラバラになった住民同士の旧交を温めるとともに、新たなまちづくり、地域づくりを考えるチャンスにしてもらえれば」と話す。
現在、食事や弁当、土産品の提供のほか、滞在中のボランティアガイド、移動困難者の付き添い、必要経費の寄付(個人1口1千円3口以上、法人団体1口1万円)などの支援を呼びかけている。問合せは中区社会福祉協議会 ☎045・681・6664まで。

「港」の縁で旅行招待

横浜市中区社会福祉協議会や中区ボランティア連絡会などによる「おおふなど」「がんばっぺし」心プロジェクトでは3月29日(木)から3日間、大船渡市大船渡町の浜町、須崎両地域の住民計80人を横浜旅行に招待することを決めた。25日に関係者が市役所を訪れ、目録贈呈や趣旨説明を行った。



大船渡市大船渡町、須崎両地域の住民計80人を横浜旅行に招待することを決めた。25日に関係者が市役所を訪れ、目録贈呈や趣旨説明を行った。

このプロジェクトには、首都圏在住の市出身者らによる復興支援組織も参加しているほか、横浜市中区役所などが後援。横浜市と大船渡市は港町という共通点があり、横浜港を母港とする大型客船「飛鳥II」が毎年大船渡港に寄港していることから、第二の心のよりどころにしてもら

目録を受け取った戸田市長は「住んでいないまちが壊滅してしまっただけか、日々の生活や復興に向けた取り組みで疲れている方も多く思われる。心温まる支援ですね」と感謝。金子会長は「現地にきて、被害規模の大きさは想像以上ではあったが、一日も早く復興できるような支援していきたい」と述べた。

東海新報 (平成24年1月27日)

横浜から 被災地へ つなぐ絆 つづく支援

タウンニュース中区・西区版
(平成24年2月9日号)



金子会長(右)が戸田市長(中)へ目録を贈呈

同じ港町として、震災で被害を受けた大船渡市民を中区に招こうという「おおふなど」「がんばっぺし」心プロジェクト。発起人である中区社会福祉協議会や中區ボランティア連絡会のメンバーらが1月25日、大船渡市を訪れ、戸田公明市長に目録を贈呈した。
同日、大船渡市を訪問した金子会長は「被災地で大船渡市民を中区に招こうという『おおふなど』『がんばっぺし』心プロジェクト。発起人である中区社会福祉協議会や中區ボランティア連絡会のメンバーらが1月25日、大船渡市を訪れ、戸田公明市長に目録を贈呈した。これは忘れられないことである。非常にありがたい」と話した。
同プロジェクトは3月29日から31日までの3日間、大船渡市の市民80人を中区に招いて横浜観光や交流を楽しんでもらおうという。ボランティアや募金については中区社協 ☎045・681・6664へ。

中区→大船渡 「ほっとする時間持つて」
「がんばっぺしメンバー」が訪問

おつ」と企画した。沿岸部に位置する浜町、須崎両地域は、現る水が続くほか、毎年「飛鳥II」が接岸する野々田ふ頭にも近い。旅行期間中は中華街・元街散策や歓迎セレモニーなどを計画している。プロジェクトに加わり、贈呈式にも同席したNPO法人・新(あ)らたの佐藤拓子さんが「両地域から希望者を募ることにしている。」

横浜観光楽しんで

中区社協 大船渡の被災者招待



飛鳥Ⅱがつかない絆

同事業は「おおぶな」と「が
んばっべし」心プロジェクト
須崎地区の住人を同じ港町

横浜市中区社会福祉協議会などが取り組んでいる東日本大震災復興支援事業の一環で、岩手県大船渡市の被災者82人が29日、横浜市を訪れた。2泊3日で市内観光などを予定。中区は「横浜らしい」「おもてなし」で人と人の絆を紡ぎたいと話している。
(石尾 正太)

ト。横浜船籍の客船飛鳥Ⅱの寄港地で、津波によってほとんどの住宅が流された。同士の絆、中区との絆を強めてもらおうと招いた。

参加したのは4歳から88歳までの44世帯82人。横浜市中区の関東学院大学関内メディアセンターでの歓迎セレモニーでは、市立吉田中学校吹奏楽部の演奏で「ふるさと」を合唱した。中区社協の金子豊会長は「3日間ゆっくりし、横浜を楽しんで」とあいさつ。

地区世話人の新沼照子さん(51)は「みんな集まるのは震災以来。今後もつながりを大切に「がんばっべし」とやっていきたい」と述べた。家が流され、家族が別々に仮設住宅で暮らす菊池文江さん(16)は「横浜は初めてなので、数日前からわくわくしていた。中華街に行きたい」と目を輝かせていた。

吉田中吹奏楽部の演奏に合わせて手拍子する大船渡市の被災者
〓中区(吉田 太一写す)



横浜ツアーを満喫

大船渡町浜町・須崎住民

「おおぶな」「がんばっべし」心プロジェクトの一環で、大船渡市大船渡町の浜町、須崎地域の住民計80人を招待する「横浜ツアー」が、2泊3日の日程で行われた。2泊3日の日程は、終日自由行動に、ポンティアとともに山ト公園や中華街での散策などを楽しんだ。震災前は「近所」でも、現在は離れた地域で暮らす住民もいるため、今も変わらない絆を確かめ合う機会にもなった様子。関係者の気遣いに感謝しながら、早期復興を誓い合っていた。

横浜でのツアーを楽しんだ大船渡町の地域住民

大船渡の被災者 80人を横浜招待
 中区社会福祉協議会が29日、津波で家を流された岩手県大船渡市の被災者を横浜に招いた。ともに港町で、岩手県で唯一国際港を持つ大船渡には、横浜を母港とする大型クルーズ船「飛鳥Ⅱ」が毎年続けて寄港している間柄。「横浜の旅で心を休めほしい」と企画し、全戸が流出した浜町、須崎両地区の42世帯・80人が参加した。2泊3日の日程で横浜中華街や飛鳥Ⅱの乗船などを楽しんでもらう。

牧野孝一中区長は「両地区の住民が再会し、一緒に楽しい日を過ごしてほしい」と歓迎した。約20のホテルが部屋を無償提供するなど協力した。

大船渡市から82人市内観光楽しんで
 中区の団体など招待
 横浜市中区のボランティア団体などが二十九日、東日本大震災で被災した岩手県大船渡市の被災者八十二人を招待した。二泊三日で横浜観光などを楽しんでもらう。招待したのは、約百七十戸が津波で流され、二十六人が死亡した大船渡市大船渡町浜町など二地区の

四一八十八歳の被災者。歓迎セレモニーでは吉田中学校(中区)の吹奏楽部が演奏で出迎えた。写真。

仮設住宅で暮らす保険外交員新沼照子さん(左)は「山下公園(中区)で鎮魂の祈りをしている人たちをテレビで見ても、全国の人に支えられていると思っ

た。住まいがバラバラになり、会つのが一年ぶりの人もいる。交流するきっかけをつくらせてもらい、良かった」と感謝した。街頭募金などで集めた約三百万円を費用に充てた。(荒井六貴)

獅子舞を鑑賞
 ＊大船渡の市民80人
 東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県大船渡市の市民約80人が横浜市に招待され、市内観光を楽しんだ。ハマツ子の温かい歓迎に元気をもらった様子だった。

大船渡市民は先月31日まで2泊3日の日程で横浜に滞在。29、30日に横浜中華街やみなとみらい地区を見物し、獅子舞の演舞を楽しむ大船渡市民ら(横浜市中区の横浜山手中華学校で)

が主催する「おおふなと」が「がんばっぺし心プロジェクト」の一環。横浜港を母港とする豪華客船「飛鳥Ⅱ」(5万142ト)が毎年、大船渡港に寄港している縁で始まった。

元気出して 被災者招待



中区から大船渡へ つないだ絆

がんばっぺし心プロジェクト



震災で大きな被害を受けた岩手県大船渡市民を横浜に招こうと中区社会福祉協議会などが中心となり、準備を進めてきた「がんばっぺし心プロジェクト」。3月29日から31日までの3日間、大船渡市民86人が中区を訪問した(写真1)。

29日にホテルニューグランドで行われた歓迎レセプションでは、中区社協の金子豊会長が「横浜のまちを楽しんでほしい」と挨拶。訪れた大船渡市浜町地区、須崎地区の住民はほとんどが自宅を津波で流されており、現在は仮設住宅での生活が続いている。久しぶりに顔を合わせる人も多く、近況を語り合う姿が見られた。「大船渡音頭」が流れると、参加者全員が輪になって踊る姿も(写真2)。

地元で伝わる大漁歌を披露した高橋秀雄さん(写真3)は「横浜の人たちの温かい歓迎を受け、元気をもらいました」と話していた。

31日には横浜山手中華学校(横浜市中区)に招待され、同校生徒の獅子舞や中国伝統芸能の演舞を鑑賞した。大船渡市民はお返しに、同市の銘菓「かもめの玉子」をプレゼントした。

大船渡市大船渡町から訪れた及川正巳さん(70)は「地元の家はずっと津波にさらわれ、ふるさとの面影はもうない。温かい支援に心の底から感謝している。復興に向けて頑張る励みになった」と目を潤ませていた。

東日本大震災被災者支援事業 おおふなと「がんばっぺし」心プロジェクト
きずな&おもいを紡ぐ旅・よこはま 事業報告書

発行日 平成24年7月

発行 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会

〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル4階

TEL:045-681-6664 / FAX:045-641-0678

E-mail:info@nakasha.net URL:http://www.nakasha.net

写真提供(一部)

東日本大震災被災地復興支援がんばっぺしプロジェクト(発起人)

撮影:羽瀧みどり



本事業は、赤い羽根共同募金(神奈川県共同募金会)受配事業です。

